

(19) キジハタのブランド化に関する調査研究

予算

運営費交付金

概要

大阪府ではキジハタのブランド化を目指しており、そのための調査研究が研究所の役割となっている。平成29年度は健全種苗生産技術開発、価格向上対策、ブランド化支援を行った。健全種苗生産技術開発では形態異常防除対策として、開鰾時期と形態異常との関係を調べた。その結果、孵化後7日目に開鰾させると形態異常率が低く、開鰾率が高い健全な種苗をできる可能性が示唆された。

価格向上対策とし飲食店や卸売業者へ聞き取りを実施した結果、40～50歳代以下の年齢層で知名度が低い事が明らかとなった。また、漁業者へ聞き取りを行った結果、漁業者は個々で販売しており、集約出荷するには設備が小さいという問題点が明らかとなった。

ブランド基準を定めるための基礎知見として、大きさ別の食味官能試験を行った。蒸物で比較した結果、大きいほど美味しいと感じられることが明らかとなった。

担当者

辻村浩隆、鈴木達也